

WEARING PROPAGANDA ?

附属総合ミュージアム 館長 横川公子



2024 年早々のまだ寒い盛りの頃、放送大学客員准教授大高 幸先生の訪問を受けた。

大高先生は、「博物館教育論」を担当されている一人で、自己紹介にもなる同タイトルの編著書（2022 年 3 月出版）ともう一冊、アメリカで取り組まれた“WEARING PROPAGANDA textile on the home front in Japan, Britain and the United States, 1931-1945”という分厚い共著の本と一緒に現れた。後者はアメリカとイギリスで巡回展を実施した際の図録で、ご来館の趣旨に重なる内容である。

和服柄に宿る“戦争”に関する展示を企画するので、着物類の同定のため相談したいと、大きなサムソナイトの旅行鞆に、件のきもの類を詰めてゴロゴロと引いてこられたのである。当館が実施してきた生活文化玉手箱シリーズの展示に引き寄せられたのである。今回は、シリーズ第 1 回の「きものの文字文様」の図録（2014）を入手されていて、面映ゆいことではあるが、バイブルのように参照しているという。コツコツと集められた戦争が描かれた着物類を広げ、意見を交換したのは、その後オンラインによ

るものも含め、数回に及んだ。先生の率直な物言いは、初対面にもかかわらず、たちまちのうちに核心に迫る会話や討論を誘発した。

着物素材の同定についてはなかなか難しいが、戦争に取材したきもの柄は、当時のニュースや出版物に詳細に伝えられたものと重なる為、日清戦争なのか、日露戦争か、あるいは日中戦争に取材したのかというようなことが確かめられた。

そうした柄は、成人用では羽織の裏や襦袢など隠れた部分、子供用では着物など外側にあった。昭和初期（1926～40 年頃）の対外戦争への想いが宿る和服柄は、教科書、年賀状、玩具、煙草パッケージなどと共に、効果的な草の根の PROPAGANDA となったのだ。

その成果の一部は、7 月 22 日から 8 月 22 日まで、立命館大学国際平和ミュージアムのギャラリー展示「昭和初期の和服柄に宿る戦争」となっている。今こそ知らしめたいという、キュレーター・大高 幸先生の思いが見え隠れする展示となった。

1 階ロビー

2024 年度夏季展示

「ゆかたコレクション」

開催中！

開催期間：2024 年 6 月 7 日（金）～8 月 30 日（金）



実物の展示以外に、壁面でパネルでもご紹介しています。皆さんよくご存じの名前があるかも？

浴衣は夏季を代表する和服の一種で、現在でも多くの人が気軽に着用を楽しんでいます。その原型は、平安時代の貴人が沐浴時に着用した「湯帷子」にあり、室町時代後期には武家を中心に、湯上り後の身拭いに用いられ、江戸時代後期には庶民の間にも普及しました。もとは麻製でしたが、江戸時代中期より丈夫で吸水性に優れた木綿製が主流となります。

明治時代には、注染、捺染などの染技法が発達し、多様な浴衣が生産されるようになり、関東を中心に外着として「見せる浴衣」へとデザインが展開されていきました。

夏季企画では、近世より作られ続けてきた木綿製の白地や紺地を中心に、大柄でデザイン性に富んだ近現代の浴衣を展示します。

さがしてみよう！

武庫川ヒストリー vol.1

M.W.U.
MUSEUM



くわしくなろう！

武庫川女子大学のキャンパス内には、学院の歴史にまつわる様々な記念碑・記念樹・定礎などのモニュメントがあることをご存知ですか？

ミュージアムでは、資料や文献だけでなく、キャンパスの各所に存在している学院の歴史を刻むモニュメントについても調査をおこなっています。このコーナーでは、普段何気なく目にしている（はず）の様々なモニュメントについてご紹介します。「どこにあるんだろう？」「何が記されているんだろう？」と改めて認識し、「武庫川ヒストリー」に詳しくなりましょう！



この碑文は、武庫川学院の校祖・公江喜市郎先生が長年の教育界への尽力を認められ、勲二等を叙勲された記念につくられたモニュメントに記載されているものです。草をかき分けて読むと、先生の功績を称える当時の関係者の方々のあたたかい言葉が伝わってきます。この碑文は、武庫女に関わる人なら必ず目にするモニュメントにあるのですが…さて、どこにあるのでしょうか？

（答えは次号で!）

展覧会情報

「女子学生は何を学んだのか」

—教育標本資料に見る女子高等教育の黎明—

開催期間：2024年10月2日（水）～12月4日（水）

2024年度秋季展では、「女子学生は何を学んだのか—教育標本資料に見る女子高等教育の黎明—」を開催いたします。明治から戦前期、そして武庫川女子大学が誕生した昭和20年代にかけて、当時の女子学生が何を学んだのかについて、様々な教育標本資料から概観します。「教育標本資料とはなにか」「どんな教育を受けていたのか」「教育機関で何を学んだのか」…いろいろな視点でぜひご覧ください。



右 教科書『尋常小学国史附図』（当館蔵）
左 裁縫雛形 内着（本学生生活環境学部 池田研究室蔵）

武庫川女子大学附属総合ミュージアム Museum News no.9 2024年7月発行

663-8558

西宮市池開町 6-46 学術研究交流館（IR 館）4・5 階 Mail haku@mukogawa-u.ac.jp

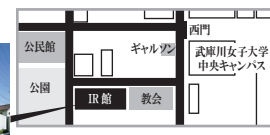
TEL (0798) 45-3509 / FAX (0798) 45-9994

HP <https://www.mukogawa-u.ac.jp/~museum>

Museum
HP



MAP



ニュース内で使用しているイラストは附属総合ミュージアムで作成しました